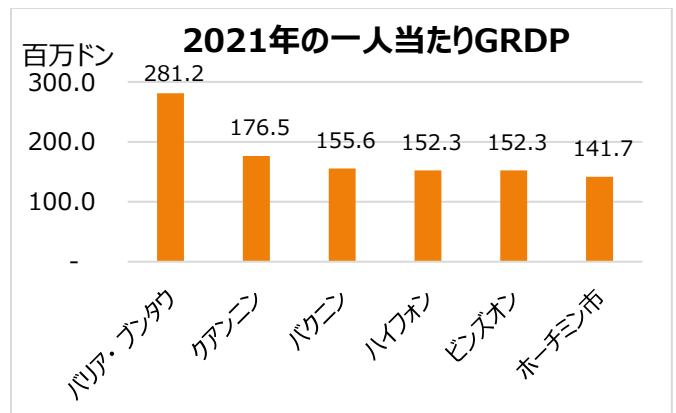
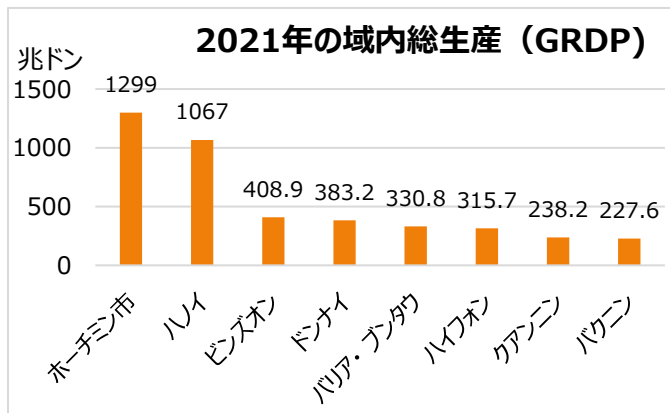


2022年3月23日

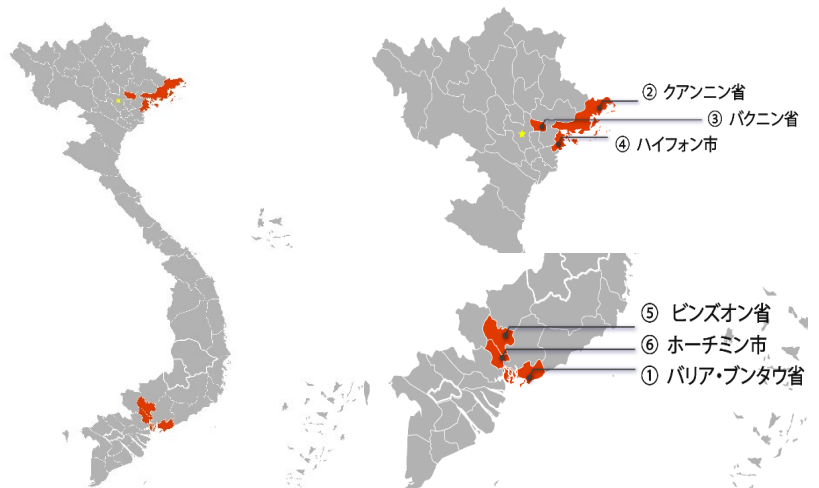
ベトナム；1人当たり GRDP ランキング上位の省・市

2021年の域内総生産（GRDP）でトップの自治体はホーチミン市で、その GRDP は 1,299 兆ドン（約 6,715 億円）でした（地方統計局；以下の統計数値も同様）。2 番目はハノイ市で、2021 年の GRDP は 1,067 兆ドン（約 5,499 億円）となりました。3 位以下はビンズオン省、ドンナイ省、バリア・ブントウ省などでした。



出所：地方統計局

一方、一人当たりの GRDP ランキングは、当然のことながら順位が大きく異なります。上位の6省・市は、①バリア・ブントウ省、②クアンニン省、③バクニン省、④ハイフォン市、⑤ビンズオン省、⑥ホーチミン市でした。これらの地方自治体の概要は次のとおりです。



写真提供：CPVN

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。



写真提供：バリア・ブントウのポータル

1. バリア・ブントウ省

- 人口：1,176,079 人
- 場所：南東部地域の東海（南シナ海）への玄関口である南部主要経済特区に位置します。
- 経済：南部の石油開発の中心地で、国の石油埋蔵量の 93%、天然ガス埋蔵量の 16%を占めています。43 の海港と内陸水路港を有し、南部のロジスティクスの中心地です。また、ブントウ沿岸には観光都市もあります。

2. クアンニン省

- 人口：1,321,149 人
- 場所：北東部に位置し、北部の主要経済地域と北部沿岸地域の両方にまたがっています。
- 経済：ユネスコ世界遺産に認定されたハロン湾があり、ベトナム有数の観光地です。最大 36 億トンの石炭埋蔵量があり、これは国の埋蔵量の 90%以上に相当し東南アジア随一です。クアンニン省はベトナムと中国や周辺国との間の国際物流ハブとして発展し、巨大な経済圏を形成しています。2021 年の GRDP は 10.28%増加したとされ、成長率でハイフォン市に次ぐ国内第 2 位の自治体となっています。



写真提供：クアンニンのポータル

3. バクニン省

- 人口：1,462,945 人
- 場所：紅河デルタのハノイ首都圏にあり、北部の主要経済特区に位置しています。
- 経済：大規模な工業地帯で、サムソン・バクニン工場を始めハイテク産業の集積地です。2021 年、バクニン省の工業生産額は 1,500 兆ドン（約 77.5 兆円）に達し、1997 年の約 1,000 倍になりました。1997 年から 2021 年までの 25 年間に、バクニン省の平均経済成長率は 13.9%でした。



写真提供：バクニン工業団地管理委員会



写真提供：ハイフォン市ポータル

4. ハイフォン市

- 人口：約 2,072,400 人
- 場所：紅河デルタの北部沿岸地域にある沿岸都市
- 経済：北の重要な港湾都市で、47 の港を有しています。特にハイフォン港は全国有数の港湾物流クラスターとして北の海への玄関口の役割を果たしています。ハイフォン市は、ビングループのビンファスト EV 工場があるベトナムの自動車都市でもあります。さらに、多くの工業団地があり、2021 年には 53 億ドルと国内で最高額の外国直接投資 (FDI) を受け入れました。



写真提供：ビンズオンのポータル

5. ビンズオン省

- 人口：2,627,195 人
- 場所：ホーチミン市の東北に位置する貿易の玄関口で、南部の主要経済地域を形成しています。
- 経済：ビンズオン省は FDI の誘致に積極的な自治体で、その総誘致額である 372 億ドルはベトナムで 2 番目にランクされています。33 の工業団地を有していて、総計画面積は 14,790 ヘクタールです。

6. ホーチミン市

- 人口：9,166,840 人
- 場所：東南部とメコンデルタの間に位置し、東南アジアの中心とも言われています。
- 経済：経済、文化、教育、科学技術の中心地と見做され、ホーチミン市の経済は多くの分野で多様化しています。その地理的な位置のため、ホーチミン市は国際交流と東南アジアとの地域統合の要となっています。累積ベースで、ホーチミン市は国内最大の FDI 都市で、誘致額は 490 億ドルに上ります（現在、1 万件以上のプロジェクトが進行中）。



写真提供：ホーチミン市ウェブ

世界銀行のベトナム経済アップデートレビューレポート（22年1月13日）によると、ベトナム経済は2022年に5.5%、2023年には6.5%成長が予想されていますが、これはベトナム政府による新型コロナウイルス感染症への対応と、同国経済のコロナ禍への適応力に裏付けされています。なお、ベトナム政府は2022年のGDP成長目標を6%～6.5%に設定しています。

<http://www.capital-am.co.jp>

以上

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。